

## きほくのまち人探訪



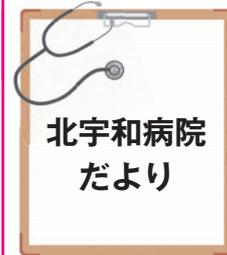
### 広見中学校軟式野球部

第36回全日本少年軟式野球県大会において、広見中学校軟式野球部が激闘を制し、初優勝を飾りました。キャプテンの土田翔大さん(3年生)はこの大会を振り返り、「レベルの高い大会だったけど、広中野球部の持ち味である『守り勝つ野球』ができた。そして、『優勝』という目標が達成できて嬉しい」と、笑みを浮かべます。

現在、酒井博司監督の指導の下、1年生8人、2年生6人、3年生10人の計24人で活動している広中野球部。さらなる「守備力強化」と「得点力アップ」を目標に掲げ、実戦形式を意識した練習を中心に、日々汗

を流しています。放課後や休日の運動場には、「ハキハキとした声出し」と「駆け足で移動」を心掛けた、はつらつとした部員たちの姿が広がります。「和気あいあいとした雰囲気の中で、毎日楽しく練習ができています」と話す土田キャプテン。「部員全員に声掛けができるよう、もっと視野を広くしていきたい」と、キャプテンとしても向上心を持つ姿がありました。

5月25・26日には香川県で開催される四国大会に出場する当チームの目標は「県内で負けなしの野球部」。広中野球部の今後の活躍が期待されます。



北宇和病院 副院長  
内田 篤宏

整形外科では、リウマチ科の仲田医師とともに、月曜日から金曜日の午前中外来診療を行っています。予約診療は行っていません。ただ、急な怪我の場合などは可能な限り対応させていただきますので、ご連絡をお願いします。また、整形外科は1人体制のため、医師不在時の休診のご確認もお願いします。主な対象は、上下肢の骨折、切り傷などの外傷、急性および慢性の関節疾患・脊椎疾患、骨粗しょう症、褥瘡などで、必要に応じて手術療法や保存療法を行います。

当院では理学療法士・作業療法士が医師の指示のもと、「機能回復および日常生活動作の獲得のためのリハビリテーション」を行っています。運動療法には一定の期限がありますが、運動により痛みの軽減作用、精神・身体機能の向上が期待できます。痛みや加齢により活動性が低下し、悪循環になっている方は、専門スタッフの評価・指導を受けて、自主訓練を続けることをおすすめします。

### 編集後記

▼広見中学校軟式野球部の取材のため、十数年ぶりに母校の運動場を歩きました。さらに、酒井監督は私が中学生のときにお世話になった先生でした。先生も私のことを覚えてくださり、とても懐かしかったです。「人と人とのつながりを感じられる」ととても幸せな瞬間でした。

▼いよいよ「令和」がスタートしましたね。平成から令和に変わる瞬間、日本中はお祭り騒ぎでしたが、私は夢の中でした。これから先、令和がどんな時代になるのかワクワクしますね。皆さんにとって令和の時代が幸多き日々になりますように。(悠)

### 今月の一枚



鬼北TIGRINHOの選手と愛媛FCマスコット・オスレくんとの可愛い「1」。